

# 台湾留学

月例報告書 2月

留学先：台湾師範大学

留学形態：交換留学

期間：1セメスター

## はじめに

台湾に来て約3週間。学校の手続きやレベル分けテスト、寮への移動など初めの1~2週間は特にバタバタしましたが、少しずつ落ち着いてきました。今回は主に、台湾に来て思ったこと、トラブル等について書いていきたいと思います。



メインキャンパス正面の建物。



## 言語

大学の諸手続きの説明は全て英語でした。留学前に英語も勉強しておくことをお勧めします。OIA（大学の国際事務局）に質問に行くと大体 Chinese or English? と聞かれ、選んだ方の言語で対応してくれます。

台湾に来て驚いたのが、一般の学生でも英語を話せる人が多いということです。先生も学生もびっくりするほど滑らかに英語を話します。どちらの言語も頑張らなければ…と思う毎日です。

言語で苦労する場面はたくさんあります。常に、聞き取れない、わからない、話せないというもどかしさを感じています。辛い時もありますが、それが勉強のモチベーションになっています。

## 物価

台北の物価は日本とほとんど変わらないか、少し安いくらいだと思います。台湾の物価はここ数年で上昇しているようです。しかし、交通費は日本に比べて圧倒的に安いです。そのため気軽にバスや MRT に乗ることができます。



## 寮での生活

台湾の大学生は一般的に大学の寮で生活します。そして基本的に4人部屋です。住居費（寮費）だけ見れば日本で一人暮らしをするより圧倒的に安く済ませることができると思います。シャワー、トイレ、キッチンは全て共用です。マットレスやボディーソープ、トイレトペーパー等は備え付けではないので最初に自分で購入する必要があります。



## トラブル

### ①お金を引き出せない

大きなトラブルといえば、留学用に用意していたカードがなぜか台湾のATMで使えなかったということです。数回別のATMでも試しましたが、必ずエラーが出てしまいます。台湾でお金を引き出せる口座を一つしか用意していなかったため、これは大きな打撃でした。現在はお金を引き出せる友達に引き出してもらい、その友達の口座に請求された金額分を振り込む、という形で対処しています。

万が一このようなことが起こっても大丈夫のように、留学の際は複数の口座、カードを用意しておくのが安心だと思いました。

### ②提出書類の不備（保険）

現地登録日というものがあり、台湾に来てすぐ大学で諸手続きをしました。そこで保険加入証明の提出を求められ、保険会社が用意してくれた書類を見せると「これでは事故にあったときの補償内容の記載が不十分だ」と受け入れてもらえませんでした。加入している保険の内容としては十分はずなのですが、表記に問題があったようです。そのため保険会社に連絡し、改めて具体的に補償内容が記された書類をメールで送ってもらい、無事に受け入れてもらうことができました。

### ③履修登録

履修登録時に2点戸惑ったことがありました。

1点目は、履修登録をしようとしてもすでに定員数に達していて取れない授業があったことです。先着順なのでどうしてもワンテンポ遅れて履修登録を始める留学生には少し不利だなと感じました。

2点目は、事前履修必須の授業が多いということです。そういった授業はシラバスに Prerequisite Course という表示がされています。特にデザイン学部の授業はその傾向が強く、後期からより前期からの留学の方が授業をとりやすかったのではないかと思います。